

【現況（住民の意識）】

平成27年11月に中学生以上を対象として実施した住民アンケートでは、次のような意識を伺うことができました。（回答が多かった上位3項目のまとめ）



（参考）東荷地区の概況

地理・・・東荷地区は、光市の北部に位置し、四方を山に囲まれ、東荷川や黒杭川流域に農地が広がっています。

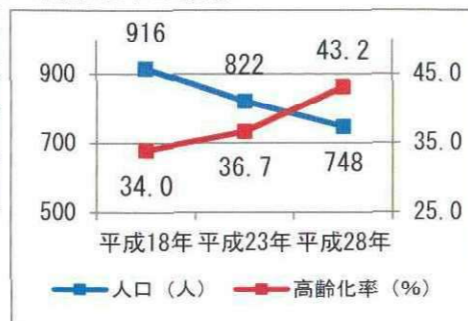
人口・・・平成28年6月末の人口、高齢化率は748人、43.2%です。10年前（平成18年）の人口、高齢化率は916人、34.0%でしたので人口減少と高齢化が進んでおり、世帯数が10年前とほぼ同じであることから世帯の少人数化も進んでいます。

機関・・・地区は8つの集落で構成され、幼稚園、小学校が1か所ずつあります。

文化・産業・・・初代内閣総理大臣伊藤博文公の出生地を記念して整備された伊藤公記念公園、地産地消による農業の振興や生産者と消費者との交流の促進を目的に整備された農業振興拠点施設「里の厨」が賑わいを生んでいます。

【表1】東荷地区における直近10年間の世帯数・人口・高齢化率の推移

	H18	H23	H28
世帯数(戸)	321	325 (4)	320 (△5)
人口(人)	916	822 (△94)	748 (△74)
高齢化率(%)	34.0	36.7 (2.7)	43.2 (6.5)



※備考：各年6月末時点の住民登録基本台帳を引用。

カッコ内は5年前比。



東荷

コミュニティプラン

【東荷コミュニティプランの趣旨】

近年、全国的に少子高齢化が進み、地域の元気を失っていく暗い話題やニュースをよく聞くようになりました。私たちのふるさと東荷でも少子高齢化を感じ、東荷の将来を心配されている方は少なくないと思います。

そこで、まずは一人ひとりが感じている東荷の魅力や日常生活の悩み、そして東荷の将来に対する理想などをお聞きすることから始めました。そして、お聞きした結果を参考に、私たちは何が出来るのかについて地域内の関係団体の協力のもと、話し合って将来へ向けた取り組みの方向性をまとめました。

この東荷コミュニティプランにもとづき、東荷ひとりひとりの力を合わせて、元気な東荷の将来をみんなで一緒につくっていきましょう。

平成28年11月

東荷コミュニティ協議会